

留学先大学：ライデン大学
 留学先での所属学部・研究科：法学部
 留学先での在籍身分：交換留学生
 留学期間：2013年8月～2014年6月
 神戸大学での所属学部・研究科：国際協力研究科
 学年（出発時）：M2
 本報告書記入日：2013年11月12日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

地球の歩き方（オランダ・ベルギー・ルクセンブルク）はオランダの気候や公共交通機関の乗り方、国際電話の掛け方などを知るうえで有用。

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____
- 住居（寮，アパート）の名前：Herengracht
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）_____
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：_____） その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：5分，自転車
- ・住居の周りの環境はどうか。：

目の前を運河が流れており、とても静か。大学やスーパーマーケット、中心街にも近く便利。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

パスタやサンドイッチ、野菜炒めなど手軽に作れるものを食べている。学校の食堂（とはいっても、サンドイッチやスープやサラダくらいしかない）で食べることもしばしば。時にはケバブの入ったトルキッシュピザやマクドナルドで済ませることも。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

大学の指示通りに動けば、住居が見つからないことはない。トラブルも特になし。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）_____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Protection of Human Rights in Europe	Dr. Vasiliki Kosta	2h×2	5ECTS	30	欧州人権裁判所の判例を毎回5つぐらい読む。こまめな予習が必要。
2	Moot Court Public International Law	Esther Kentin	1h	5ECTS	30	模擬法廷。授業と言うより一人でのリサーチがメイン。請願書の提出やプレゼンの練習も含まれる。
3	Introduction to Children's rights	Prof. dr. T. Liefwaard	2h×2	5ECTS	30	2回に1回レポートの提出が必要。授業前の予習課題の量も多く、完璧にこなすのは大変。
4	Trade and Finance in the Global Economy	Dr. J. de Kort	2h×2	5ECTS	80	法学というより完全に初等経済学。いったんわからなくなると後は終始わからない。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

まず最初に履修の仕方に戸惑う。usisというサイトを使って、オンラインで行うが、このサイトの使い方が少々わかりづらい。授業とテストを別々に登録する必要があり、授業も時に同じ名前の授業がいくつも出てくるがWGR（ワーキンググループ）と書かれているものだけ登録すればよい。授業中プリントが配られることはほとんどなく、文献のダウンロード、コース情報、課題の提出などは全てBlack Boardと呼ばれるサイトを通じて行われる。授業によってはインターネットを通じて、教科書やシラバスを購入する必要がある。授業はたまに教師が質問をするが、基本はスライドを使った講義形式で行われる。留学生も大半はヨーロッパやオーストラリア出身で英語ができることは至極当然のものとして進められる。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
11:00	模擬法廷	寮でダラ	市内散	自習	寮でダラ		
12:00	プレゼン	ダラする	策・	授業	ダラする		
13:00	練習	授業	ショッピング			自習	友人と出かける
14:00	昼食		昼食	コーヒー	自習		
15:00	自習	コーヒー	自習	自習			
16:00		自習					
17:00						帰宅	
18:00		夕食		帰宅	帰宅		
19:00	帰宅			夕食	夕食		
20:00	夕食		夕食		パーティー		帰宅
21:00		帰宅					
22:00	サークル		帰宅	サークル活動			

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

学習面について

やはり一番感じるのは語学面での苦勞。教師にもよるが、何をしゃべっているのか全く聞き取れない教師もチラホラ。周りの学生たちがPCでカタカタとノートをとっているなか、自分は聞くだけで精一杯。予習も大量の英語文献を読んでこななければならないので、焦りを乗り越えて、諦めの境地に至ることも。そのような中で、自分が元から持っている知識をいかして、レポートを提出するような授業は唯一の得点源。

交友関係について

やはり一番よく話す（話してしまう）のは日本人留学生。オランダ在住の人も交えた日本人パーティーや勉強会が開催されることもしばしば。しかし、ライデン大学には日本学科があり、その学生さんは日本に関心があるので友達になりやすい。日本からの留学生の歓迎パーティーを開催してくれたり、何かしらのイベントに呼んでくれたりもする。また寮には色んな国出身の人が住んでいるので、コミュニティスペースで交流することができる。自分はアルティメット・フリスビーのサークルに入ったが、こういうサークルに入れば、活動を通じて輪を広げることできる。

オランダについて

オランダのイメージは「質実剛健」。生活は質素で、食事もとても簡単に済ませる。市内の移動手段は主に自転車で、老いも若いも中古の自転車に乗って、颯爽と走り抜ける。多少の雨は全く気にせず、傘をささずにフードをかぶることによって対応する。店は午後5時には閉まり、日曜日は終日閉店。夜には町は街灯のオレンジ色に包まれ、日本に比べるとかなり暗い。しかし、そんなオランダ人もハッチャけるときはハッチャける。ライデン解放のお祭りの日には、市内に遊園地が出現し、運河の上でコンサートが開かれ、熱気に満ちていた。外国人に対しても寛大で、英語で何か聞いても丁寧に受け答えしてくれる。